

安心・安全で元気な町づくりをめざします

設立から12年

平成24（2012）年4月に西城自治振興区は発足しました。

生活上の身近な問題や将来的な課題に対して、地域のみなんで一体となって取り組んできました。発足時から比べると、人口減少と高齢化はさらに急速な勢いで進んでいます。

～設立から12年、新たな挑戦～

西城自治振興区
地域振興計画
令和6（2024）年4月1日

西城自治振興区を構成する14の自治会

平成24(2012)年10月1日現在		
自治会名	人口	世帯数
五町自治会	409	171
五日市公盛会	284	120
大佐村	202	55
入江自治会	222	85
栗自治会	185	64
大戸自治会	82	35
平子自治会	276	103
中野1区自治会	365	133
みこと自治会	372	125
さんわむら	61	16
比婆山自治会	186	65
八鳥自治会	310	112
「神話の里」くまの	105	36
今柳会	337	118
計	3,396	1,238

令和5(2023)年10月1日現在					
人口				高齢化率	世帯数
0-19	20-64	65-	計		
24	89	157	270	58%	130
25	77	111	213	52%	108
30	53	89	172	52%	68
29	77	79	185	43%	78
7	45	74	126	59%	52
0	12	27	39	69%	25
18	75	131	224	58%	95
62	115	117	294	40%	132
45	126	123	294	42%	117
2	18	24	44	55%	15
15	41	77	133	58%	59
32	72	146	250	58%	111
4	20	45	69	65%	33
15	100	143	258	55%	110
308	920	1,343	2,571	52.2%	1,133



プロジェクト制から部制への見直し

組織の問題も浮上しました。

組織の構成員がプロジェクト制では「自治会から推薦された者及び有志【全地域からの有志】」でした。プロジェクト制では協議や取り組みが見えてこない、伝えられていない、自治振興区と各自治会の活動が、もっと力強くつながることが必要との声が上がりました。そこで、プロジェクト制から部制に変更し、構成員が「自治会及び地域から推薦された者【14の自治会から選出された委員】」とし、住民自治の組織的活動の強化を図ることとしました。

目標を実現するための新たな組織

14の自治会と自治振興区が強いつながるための組織

【活動理念】

部制に基づく運用

・地域振興部

豊かな自然・里山の自然環境、作物生産環境から居住・文化等の生活環境までの地域環境の誰もが思える「ふるさと」を守って活かしていく。地域の新たな可能性を探ります。

・環境福祉部

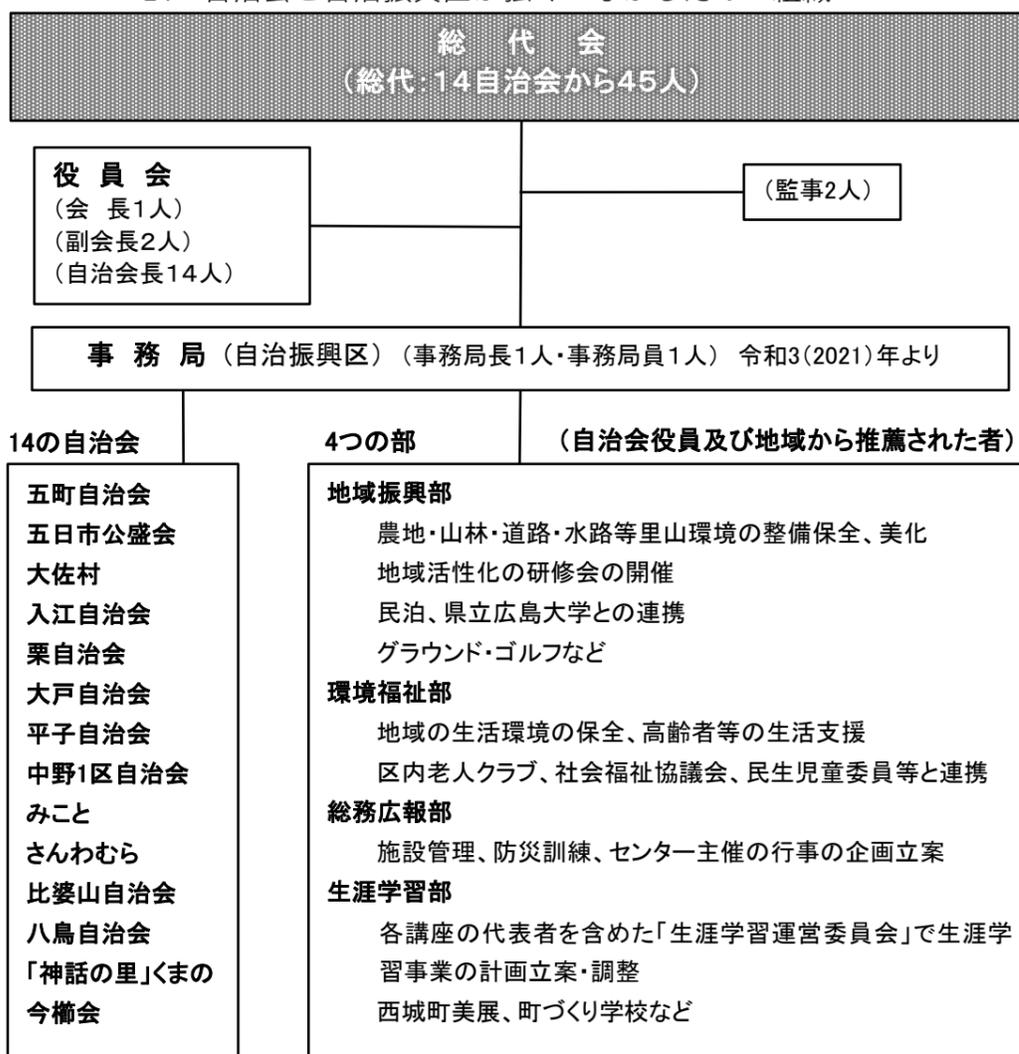
住民主体で安心安全で暮らせる生活環境を作る。高齢者の一人暮らしや、自家用車を持たない世帯を孤立させない、地域で支え合える環境をつくりまします。

・総務広報部

住民主体で激甚災害から地域を守る。住民の誰もが気軽に集える西城自治振興センターであること。こころがわくわくするまちづくりを提案します。西城紫水高校を守ることが地域を守ることと考え応援していきます。

・生涯学習部

生涯学習は子どもから大人まで生涯の生きがいづくりと捉えます。学びの機会をつくり、発信する場所をつくりまします。



地域 振 興 部	活動理念	活動目的	活動方針	毎年毎の活動計画(1~2年)	中期目標活動計画 (5年)
	豊かな自然・里山の自然環境、作物生産環境から居住・文化等の生活環境までの地域環境の誰もが思える「ふるさと」を守って活かしていく。地域の新たな可能性を探ります。	農地・山林・道路・水路等里山環境の整備 保全、美化 地域活性化の研修と開催	自治会相互間の交流強化	自治会が抱える課題等を話しあい、自治会相互の協力について検討する	○ドローンサッカー体験【西城町をドローンサッカーが体験できる町と位置付ける】 ○空き家セミナー&相談会【空き家対策に精通する相談者を各常会に複数名設ける】
			研修会、講習会	移住・定住者講習会他、講習会、研修会の実施	
			行事、イベント実施	地域活性化行事等の企画と実践 JR芸備線・木次線利用促進活動 ドローンサッカー体験の実施	
			移住・定住対策	西城地域の話、情報、観光資源等情報の発信により、移住・定住対策の推進を図る	
			空き家調査	空き家バンクの作成	
			自然観察活動	ブッポウソウの保護活動	
			農地・山林・道路・水路の美化活動	各自治会の環境整備	

環境 福 祉 部	活動理念	活動目的	活動方針	毎年毎の活動計画(1~2年)	中期目標活動計画 (5年)
	住民主体で安心安全で暮らせる生活環境を作る。高齢者の一人暮らしや自家用車を持たない世帯を孤立させない。地域で支え合える環境をつくります。	地域の生活環境の保全、高齢者等の生活支援	社会福祉協議会との連携強化	毎月1回の検討、協議を実施	○常会ごとに小地域サロン(集まりの場)を作る【常会すべてに小地域サロンをつくり誰ひとり孤立させない】
			高齢者の見守り活動	民生委員、一人暮らし相談員および関係機関との連携、協議	
			暮らしと安心の会と連携	毎月開催の定例会への出席と意見交換	
			オープンスペースの活用	年数回のロビーコンサート等行事の開催による居心地の良い場の提供、住民の展示による生きがい対策	
高齢者と若年層世代と交流強化			保育所園児や児童、生徒との交流		

総 務 広 報 部	活動理念	活動目的	活動方針	毎年毎の活動計画(1~2年)	中期目標活動計画 (5年)
	住民主体で激甚災害から地域を守る。住民の誰もが気軽に集える西城自治振興センターであること。こころがわくわくするまちづくりを提案します。	住民自治組織の拠点として、利便性の高い施設運営を行う	センター主催行事の企画、立案	センター主催のイベント、行事の企画立案	○全自治会で地区防災計画の策定【全自治会で地区防災計画を策定し、安心・安全な町を継続していく】
			防災・防犯・救急救命講習会	自然災害における緊急避難体制の整備について各自治会と協議	
			SNS等による広報活動	SNSによる西城からの発信を協議	
			西城フォトコンテスト	西城町観光協会と連携し、フォトコンテストを実施	
			広報誌の発行	広報誌まちづくり便他の発行	
			火災訓練等防災訓練の実施と消防施設点検と管理業務	西城自治振興区と西城支所による火災想定訓練 西城自治振興センターの消防施設の点検と管理業務	
			新型コロナウイルス感染症拡大と防止	再発生の場合、換気対策、消毒体制等感染防止対策を実施	
西城紫水高校を守ることが地域を守ることと考え応援していきます。	西城紫水高等学校を存続するための支援を検討する	西城紫水高等学校と地域住民の交流を推進	西城紫水高校主催イベントや行事への参加を促し、地域や学校との交流を強化する生徒達の学校生活の様子や活動を広く発信していく	○5年後も西城紫水高校を存続させる	

生 涯 学 習 部	活動理念	活動目的	活動方針	毎年毎の活動計画(1~2年)	中期目標活動計画 (5年)
	生涯学習は子どもから大人まで生涯の生きがいづくりと捉えます。学びの機会をつくり、発信する場所をつくります。	各講座の代表者を含めた「生涯学習運営委員会」で生涯学習事業の計画立案・調整	生涯学習フェスティバルの開催	西城町美展 であいとふれあいフェア	○各講座・教室の支援
			パソコン教室	初心者から中級者対象の教室	
			寄せ植え講座	外部講師を招き、本格的な寄せ植えの方法と楽しさを学ぶ	
			子ども写真教室	小学生向けの写真教室、写真を通じて地域を知る講座	
			しめ縄作り教室	正月用しめ縄作りで文化と世代間継承を推進	
			生きがいづくりの創出	センターロビーやオープンスペースの活用による生きがいづくり	
			人権学習講座	人権感覚を養い、暮らしやすい地域を構築させる	
生涯学習自主運営教室			自主運営が継続できるようあらゆる支援を行う		